

平成 2 2 年 度

財団法人秩父地域地場産業振興センター
事業報告書及び決算書

《第 2 8 期》

自 平成 2 2 年 4 月 1 日

至 平成 2 3 年 3 月 3 1 日

法 人 名 財団法人 秩父地域地場産業振興センター
代表者職氏名 理事長 久 喜 邦 康
所 在 地 埼玉県秩父市宮側町 1 番 7 号

平成22年度事業報告

<事業の概要>

当センターは、秩父地域における地場産業振興の拠点施設として、昭和60年4月にオープンし、以来、国・県及び秩父市並びに関係諸団体と緊密な連携を取りながら、地域産業振興のための各種事業を実施してきた。

平成22年度においては、広域秩父産業連携フォーラム(FIND Chichibu)の活動を中心とした「産学官連携事業」・「産学官コーディネート事業」の他、経済産業省の戦略的基盤技術高度化推進事業(サポイン事業)の管理機関として、秩父電子(株)・国立大学法人九州大学・(財)神奈川科学技術アカデミーとの協同研究事業を実施するとともに、農林水産省の「広域連携共生事業」、「秩父地域活性化推進事業」、「需要開拓事業」、「情報対策事業」等を地域産業振興事業として積極的に実施した。

また、独立採算制を目指し、営業活動を充実させ「地場産品展示販売事業」、「施設利用促進事業」についても積極的に実施した。

尚、各事業実施内容については、次のとおりである。

1. 産学官連携事業(秩父市補助事業 総事業費 1,901,053 円、秩父市より 810,000 円)

(1) 近隣大学・公設試験研究機関及び支援機関と地元企業等の交流

① 「FIND Chichibu 総会」開催

日 時 平成22年6月29日(火) 15時～

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室 他

内 容 ○広域秩父産業連携フォーラム FIND Chichibu 総会

○講演会の開催

テーマ「秩父圏域における定住自立圏構想の取組状況について」

講 師 市長室参事兼定住自立圏構想プロジェクトリーダー

高橋 範充 氏

○交流会：太白芋&食文化地域活性化分科会提案の地産地消メニュー

参加者 地域内企業、大学・研究支援機関、金融機関、行政機関、地域内会議所・商工会 市議会議員 等

② 「FIND Chichibu 中間報告会」(成果発表会)開催

日 時 平成22年12月14日(火) 15時～

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 3階 301大会議室 他

内 容 ○FIND Chichibu 成果発表会

・講演会の開催

テーマ「秩父市の産業振興政策について」

講 師 秩父市長 久喜 邦康 氏

・コーディネート事業報告

専門コーディネータ 中小企業診断士

江田 元之氏

成果事例発表

受発注かわら版の活用 (株)垣塚精機 代表取締役 垣塚 正男氏

サポイン獲得 秩父電子(株) // 強谷 隆彦氏

・部会活動報告

「連携交流部会」「インターネット部会」

・分科会活動報告

「高校生インターンシップ調査・研究分科会」「水源地域活性化分科会」

「共同受発注研究分科会」「秩父ビジネススクール運営分科会」「未来

エネルギー研究分科会」「食文化地域活性化分科会」「太白芋分科会」

「デザイン分科会」「ちかいなか分科会」「観光分科会」

○交流会：食文化地域活性化分科会提案の地産地消メニュー

参加者 地域内企業、地域内高校、支援機関、金融機関、行政機関、地域内会議所・
商工会、両毛モノづくりネットワークメンバー等

③「講演会」の開催

日 時 平成22年11月 2日（火）17：30～19：30

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室

内 容 テーマ「社長も会社も元気で長生き」

物流業界を通してみた経営者の取り組むべき課題

講 師 ファミリーコーポレーション(株) 常務取締役 菊池 恒夫 氏

参加者 地域内企業、金融・行政機関、広域秩父産業連携フォーラム会員等

④「研修会」への参加

日 時 平成22年11月19日（金）13：30～15：30

場 所 秩父市歴史文化伝承館 2階 会議室

内 容 「エコノミックガーデニング」について

講 師 国際教養大学 国際教養学部 准教授 経済学博士 山本 尚史 氏

参加者 FIND Chichibu 幹事、地場産センター事務局、秩父市役所

(2) 秩父地域の総合ポータルサイトの充実と活用

新会員のポータルサイトの掲載を促進するとともに既存ページの更新に努めた。

今年度は、新規登録13社、脱退削除7社 登録企業数 159社（3月末現在）

①「ポータルサイト 個別診断会」開催

日 時 平成23年1月17日（月）13：00～20：30

平成23年1月18日（火） 9：30～17：00

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室

講 師 (有)アイ・リンク・コンサルタント

滝浪 義則 氏

参加者 広域秩父産業連携フォーラム会員 11社

② セミナーの開催

i スマートフォン・クラウド活用セミナー

日 時 平成23年1月28日（金）14：00～16：30

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室

講 師 ①スマートフォン～法人向けの取り組み

(株)ドコモ

②Google Apps for Business 機能紹介とスマートフォンの活用事例

NEC モバイルリング(株)

参加者 地域内企業(広域秩父産業連携フォーラム会員-等)、支援機関他 37名

ii 効果的に業績を伸ばすホームページ戦略

日 時 平成23年2月 4日(金) 18:00~20:30

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室

講 師 経営コンサルタント (株)スプラム 代表取締役

中小企業診断士

竹内 幸次 氏

参加者 地域内企業(広域秩父産業連携フォーラム会員-等)、支援機関他 32名

(3) 研究開発の促進・中核的支援機関との連携

「彩の国地域プラットフォーム」の支援機関として、中核的支援機関である(財)埼玉県中小企業振興公社や(財)さいたま市産業創造財団、(財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構等各支援機関との連携を密にした。

・「新都心イブニングサロン」への参加

日 時 ①第26回 平成22年4月23日(金) 17:30~

②第27回 平成22年7月30日(金) 17:30~

場 所 新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室

(4) 「広域関東圏地域経済自立化機能体事務局ネットワーク」への参加

広域関東圏産業活性化センター(GIAC)を事務局とする、関東甲信越静の経済自立化機能体事務局のネットワークに参加、他地域との連携交流・情報交換に努めた。

①第1回 連携強化研修会

日 時 平成22年7月23日(金) 13:00~18:30

場 所 TEPCO 電化ファクトリーI2(アイ・スクエア)

神奈川県横浜市鶴見区江ヶ崎町4-1

内 容 ネットワークのキックオフミーティングと東京電力施設の見学

参加者 自立化機能体事務局、メンバー企業経営者、記者等 34名

②第2回 連携強化研修会

日 時 平成23年2月 4日(金) 13:00~19:00

場 所 AREC

長野県上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内

内 容 中小企業の海外市場開拓支援のあり方について

講 師 関東経済産業局 産業部 国際課長 久世 尚史 氏

経営支援課長 高橋多佳美 氏

参加者 自立化機能体事務局、行政・金融機関等 19名

(5) 他地域からの企業視察受入と交流

秩父地域の先進企業への視察を受入るとともに、他地域との連携交流の実現をめざし、視察訪問し、相互の交流促進に努めた。

①両毛ものづくりネットワークの視察受入

日 時 平成22年12月14日(火)

内 容 「(株)アグリカルチャーセンター」見学

参加者 群馬県 両毛ものづくりネットワークメンバー 5名

②燕三条地域及び十日町地域への視察訪問

日 時 平成23年3月4日(金)・5日(土)

内 容 i 燕三条地域地場産業振興センター

燕三条地域の取り組み及び両地域間連携交流について検討

ii 十日町地域地場産業振興センター

参加者 i 共同受発注分科会メンバー、高澤コーディネータ、秩父市、商工会議所事務局 計10名

ii 事務局2名

(6) 分科会活動の推進

テーマ毎に分科会活動を実施した。

①観光分科会

これまでの分科会活動を資料としてまとめ、秩父商工会議所へ資料の引継ぎを行った。

②ちかいなか分科会

秩父地域における定住自立圏構想という枠組みの中で、ちかいなか分科会は4年目にして大きな実績を上げることができた。宅建協会秩父支部、各行政（1市4町）との連携により、『都市住民の移住・交流促進モデル』として遊休農地・空き家の情報を発信できる『ちちぶ空き家バンク』を2月25日に開設し、ウェブ上で秩父地域の空き家・遊休地を登録してもらい、利用者登録をしていただいた方へサービス提供を開始した。

今後は、『ちちぶ空き家バンク』の認知活動のさらなる活動とアドバイザー制度などのサービス充実を図り、耕作放棄地や遊休農地の活用の可能性についても、各行政・宅建協会秩父支部・ちかいなか分科会メンバーに加えて、地域の建築家にも参加してもらい、秩父地域の将来の活性化『地域計画』について検討・提案活動に結びつけたいと考える。

③水源地域活性化分科会

滝沢ダム原石山トンネルの活用について、秩父市大滝総合支所、(株)矢尾本店、(株)源流郷おおたき、NPO法人森等々の関係者と協議し、(株)矢尾本店の焼酎「だんべえ 1.8ℓ」を3年間寝かせており、その活用方法等について検討した。

また、寝かせて1年目のだんべえを12月のFIND Chichibu 中間報告会懇親会において、参加者に試飲していただいたところ高評価を得た。2年後が楽しみとなった。

④デザイン分科会

i 22/ 8/28 (土) GOOD DESIGN EXPO 2010 視察

ii 22/11/25 (木) GOOD DESIGN EXHIBITION 2010 視察

iii 23/ 1/26 (水) 彩の国ビジネスアリーナ 2011 視察

2010年度、デザイン分科会での新たな試みとして、秩父産木材を使用した住宅(モデルハウス)の設計を行った。林野庁・農林振興センターよりご指導とご協力を頂きながら、当分科会の課題である『デザイン性の高い住宅』に加え『環境への配慮』も随所に織り込み、地域企業の参加・協力を頂き、23年度は建設を開始する予定である。

⑤太白芋分科会 (3. 広域連携共生事業参照)

⑥食文化地域活性化分科会

食文化を通じ、そしてこの地域のすばらしい食材を使い、多くの創造メニューを作った。今年度は秩父より一歩外に出て、秩父の食材を使った伝統食品の試食、販売を伊勢丹浦和店にて3回開催した。多くの方々に秩父の食材を紹介でき、多くの人から高い評価を頂いた。今後も続けたい。

そして総会懇親会・報告会後の懇親会等に開発したメニューを試食してもらい、参加

メンバーより意見や評価をいただくことで次へのステップへと繋げた。

- ・メニュー提案 平成 22 年 6 月 29 日(火) FIND Chichibu 総会後の懇親会
平成 22 年 12 月 14 日(火) FIND Chichibu 中間報告会後の懇親会
- ・伊勢丹浦和店 平成 22 年 8 月 11 日～17 日
平成 22 年 12 月 6 日～13 日
平成 23 年 1 月 26 日～2 月 3 日

⑦未来エネルギー研究分科会

低炭素社会実現をめざして、太陽光発電等未来エネルギーの活用研究として、太陽光発電パネル設置補助金等の勉強会、地域住民を対象とした無料相談会を実施した。

また、甲武信源流サミット「環境フェスタちちぶ2010」の運営を受託し開催した。

- i 太陽光発電勉強会 22/5/13(木) 18:30~20:30 経営研修室 参加者 36 人
- ii 環境省メガワットソーラー事業視察(佐久市) 22/6/18(金)~19(土) 参加者 8 名
- iii オープン分科会 22/6/22(火) 18:30~20:00 経営研修室 参加者 32 人

「秩父地域の環境面から見た将来展望」 講師 江田元之先生

「秩父市のエコタウンへの取組み」 講師 環境立市推進課 大野課長

- iv 甲武信源流サミット「環境フェスタちちぶ2010」 22/10/16(土)・17(日)

NPO 法人埼玉県地球温暖化防止活動センター秋元事務局長をお招きし、秩父市、小鹿野町、川上村、山梨市の首長、教育長、議長、秩父青年会議所理事長、FIND Chichibu 幹事長及び未来を背負う子供達と一緒に地域の環境について考えるフォーラムを開催した。

会場 秩父ミュージックパーク音楽堂

⑧ビジネススクール運営分科会

秩父地域ビジネススクールをより有効にかつスムーズな運営を行うことを目的に設置された。

ビジネススクールのコーディネータである明治大学政経学部森下教授と共に年間6回の分科会を開催し、カリキュラム協議、各スクールの実施状況確認、次年度に向けたアンケート調査等を実施した。

分科会開催日 22/3/15、22/4/26、22/5/17、22/7/1、22/10/25、23/2/21

⑨共同受発注研究分科会

部品等加工製造業支援を目的に設立した分科会。特に中小零細企業の弱点である「営業」面の強化を共同受発注という観点から調査、研究することを目的に設置された。

メンバーを中心に高澤コーディネータから営業の基礎講座を3回受講した。

また、先進地との交流として10月に(財)桐生地域地場産業振興センター、(株)下請けの底力を、3月に(財)燕三条地域地場産業振興センター、燕市、燕商工会議所を視察した。

なお、今後も燕三条地域とはセンターのみでなく、行政、商工会議所も含め、連携交流を図ることとなった。

(7) 秩父地域ビジネススクールの開催 ((財)埼玉県中小企業振興公社と共催)

ビジネススクール運営分科会にて、明治大学政治経済学部の森下正教授とともに検討を重ねたカリキュラム編成で、秩父地域の若手経営者を対象に、経営の基本事項の習得、経営革新等の諸施策、事業継承の諸問題や先輩経営者の講義等をオープンスクールを含めて全10回実施した。

コーディネータ 明治大学 政治経済学部 森下 正 教授
 受講生 地域内企業 若手経営者・幹部候補生等 29名(9月より30名)
 (のべ参加人数 214名 平均出席率 72.5%)

	開催日 18:30~20:30	内容	講師	受講生	出席率
①	H22. 7. 8(月)	最新地域ブランド活用事情 & 交流会	明治大学 政治経済学部 教授 木谷 光宏 氏	29名	100
②	H22. 7. 26(月)	最新日本経済事情 & 交流会	明治大学 政治経済学部 教授 飯田 和人 氏	28名	96.6
③	H22. 8. 30(月)	自己分析&自己診断を活かした 人的資源管理の応用	(株)ウィンビック 代表取締役 大石勝幸氏	25名	86.2
④	H22. 9. 14(月)	地域産業集積視察研修 & 現地交流会	明治大学 政治経済学部 教授 森下 正 氏	20名	69
⑤	H22. 9. 27(月)	*オープンスクール 先輩経営者講話 & 交流会	(株)高光産業 代表取締役社長 妹尾八郎氏 アポロ電機(株) 代表取締役会長 太田 颯氏	20名 + 一般 6名	66.7
⑥	H22. 10. 25(月)	*オープンスクール 先輩経営者講話 & 交流会	河野ギター製作所 代表取締役 櫻井正毅氏 COM電子開発(株) 代表取締役会長 花形 聰氏	19名 + 一般 5名	63.3
⑦	H22. 11. 22(月)	ロールプレイング研修① ～流通先進事例研修と 自社への応用～	明治大学 政治経済学部 教授 森下 正 氏	19名	63.3
⑧	H22. 12. 13(月)	異文化との出会いとマネジ メント～トヨタの米国公聴会 でのコミュニケーションスタイル～	明治大学 政治経済学部 教授 海野 素央 氏	15名	50
⑨	H23. 1. 17(月)	ロールプレイング研修② ～経営革新事例研修と 自社への応用～	明治大学 政治経済学部 教授 森下 正 氏	16名	53.3
⑩	H22. 2. 21(月)	3代70年続く企業経営に 求められる若手の役割 & 表彰式	日本創造経営協会 マネージャー 永田 弘道 氏	23名	76.7

最終日には、出席率70%を越える受講生(25名)には修了証を授与するとともに、
 10回出席者5名には皆勤賞、運営分科会員で全回出席された1名に特別賞を授与した。

2. 産学官コーディネート事業(秩父市委託事業)

中小企業相談・指導実績を有する中小企業診断士を専門コーディネータとして招聘し、原則として毎週火曜日は地域コーディネータの加藤氏と秩父市求人開拓員と共に企業訪問し、企業が抱える課題、問題克服の助言、指導を行った。また、今年度からは、月に2回水曜日には専門コーディネータとの1対1の個別相談会を開催することで、より深層部分の相談に発展し、具体的なアドバイスにより問題解決へとつながるケースが見受けられた。

本事業は、企業との信頼関係が重要であり、年月を重ねることで、コーディネータと相談企業との信頼関係が構築され、実績へとつながる企業が現れている。

FIND Chichibu の中間報告会では、活用事例を紹介し、本事業の啓蒙をはかった。

- ・専門コーディネータ 中小企業診断士 江田元之 氏・高浪正一 氏・高澤 彰 氏
- ・地域コーディネータ 加藤薫一 氏
- ・活動実績 訪問企業数 112 社 相談来所数 70 社 マッチング 14 社 分科会 1 会
サポイン事業の紹介、共同受発注かわら版の提案、共同受発注研究分科会の設立、
事業斡旋他

3. 広域連携共生事業（太白芋分科会）

農林水産省の平成22年度都市農村交流等交付金（広域連携共生・対流等推進交付金）に「ちちぶ太白さつまいも使用商品群販路拡大計画」が採択され、100万円の交付金を申請した。（総事業費 1,401,148 円、差額は FIND Chichibu 分科会事業費負担）

具体的には、日本大学芸術学部デザイン学科、ちちぶ太白さつまいも生産組合・(株)秩父総合食品卸売市場・(株)龍勢の町よしだ・埼玉県秩父農林振興センター・秩父市環境農林部農業振興課(農政課)等との連携により、ちちぶ太白さつまいも使用商品群の販路拡大をめざしたもので、初年度となる本年は先行している太白芋分科会メンバーによる太白芋を使用した菓子の販路拡大をめざし、『太白芋』を周知するためのポスターやチラシ、パッケージデザイン等を日本大学芸術学部とのコラボで作成した。

また、新パッケージにてさいたまスーパーアリーナで開催された『彩の国ドリームフェスタ』に出展し、来場者アンケート調査を実施し、ちちぶ太白さつまいもの認知度の低さなど今後の課題が抽出された。

次年度はお菓子にとどまらず、蒸留酒(焼酎)や食の分野での販路拡大へ展開する予定であったが、事業仕訳となり、単年度事業に留まった。

4. 戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)

当センターが管理法人となり秩父電子(株)・九州大学・(財)神奈川技術アカデミーが連携した「LED用ウエハー超薄板化裏面精密研磨技術の開発」事業に対して、中小企業ものづくり基盤技術の高度化認定がなされ、特定研究開発への委託が決定し、3年間で約1億円の研究事業を実施する。

平成22年度は、研削工程における高速研削実現に向けた「自動ドレス機能付きの高剛性2段研削装置」を開発・設置し、砥石の検討、1プレートウエハー3枚貼りテスト、貼り付け方法の改良テストを重ね、安定研削のための技術開発を実施した。

5. 秩父地域活性化推進事業（秩父地域活性化研究会）

昨年に引き続き「食」をテーマに、創業30年以上を目安とした、飲食店、旅館、食品製造業の老舗調査を実施した。

(1) 全体会議等

- | | | | | |
|-------------|---------|-------------|-------|---|
| ① 総会（現地調査含） | 平成 22 年 | 5 月 24 日(月) | 17 時～ | 新木鉦泉旅館 |
| ② 視察研修会 | 平成 22 年 | 6 月 8 日(火) | | |
| | | | | 目的地 神奈川県 横浜 赤レンガ倉庫・元町商店街他
地場産センター物産館協力会、職員互助会と合同実施 |
| ③ 役員会 | 平成 22 年 | 5 月 10 日(月) | 19 時～ | 402 会議室 |

(2)テーマ研究

研究会 計8回 18:30～21:00 402 会議室他 現地取材等の実施
現地聞き取り調査 9/16(木): 酒づくりの森(秩父市別所)・大むら(秩父市宮側町)
10/22(金): 榎ベンチャーウイスキー(秩父市みどりが丘)
23/1/20(木): 秩父館(長瀬町)
編集会議他(402 会議室) 7/5(月)・11/19(月)・23/2/14(月)・23/3/8(火)

6. 定住自立圏ちちぶ空き家バンク事業

秩父市からの受託事業で、定住自立圏構想に係る事業。

本事業は、地域の空き家、空き地等の有効活用を通じて、圏域住民と都市住民の交流拡大及び定住促進による地域の活性化を図る事を目的とする。

秩父市長、横瀬町長、小鹿野町長、皆野町長、長瀬町長、埼玉県宅地建物取引業協会秩父支部長及び FIND Chichibu 幹事長において、10月20日に空き家バンク構築に向けての協定書を取り交わした。

その後、広域にわたる事業であることから事業受託者が当センターとなり、推進会議メンバーで協議を重ね、2月25日にちちぶ空き家バンクホームページを構築、運用を開始した。

3月末現在 物件登録件数 12件
利用者登録人数 9人

7. 需要開拓事業

(1) 物産展・市民まつり等イベント催事への参加

下表の物産展・市民まつり等のイベント催事に積極的に参加出展し、秩父地域及び地域の物産を広く紹介・宣伝・販売を行った。

物産展・市民まつり等イベント催事出展一覧表

期 日	出展場所	催 事 名
4月3日～5月6日	羊山公園	芝桜まつり特設販売
5月16日	秩父ミュージックパーク	チャレンジロードレース大会
6月6日	大月市民会館	たい平小遊三二人会
7月3日～4日	桐生地場産センター	2010 じばさん夏の市
9月5日	秩父市立大田小・中学校	第58回秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会
9月10日～12日	山梨県甲府・国中地域地場産センター	地場産業まつり
10月9日	荒川水循環センター	下水道フェスタ
10月10日	棕神社例大祭会場	龍勢祭り
10月24日	神庭交流広場	第33回奥秩父大滝紅葉まつり
10月23日～24日	さいたまスーパーアリーナ	さいたまスーパーフェスタ
10月23日～24日	堺市産業振興センター	大産業祭
11月13日～14日	東村山市役所周辺	第49回東村山市民産業まつり
11月13日～14日	山口・防府地場産センター	全国うまいもの物産展
12月18日～19日	桐生地場産センター	2010 じばさん冬の市
23年1月1日～10日	山梨県甲府・国中地域地場産センター	お正月市
23年2月25日～27日	山梨甲府・国中地域地場産センター	地場産業まつり

*延べ68日間

売上 13,121千円

(2) イベント等の開催

①地場産まつりの開催

i. 春の地場産まつり

- ・期 間 平成22年4月10日(土)～5月9日(日)
- ・会 場 1階エレベーター前・店頭・2階休憩コーナー
- ・内 容 春をテーマにGW期間中の集客増進を図った
イ.試飲、試食コーナー・草花の販売・枳餅の実演販売

ii. 夏の地場産まつり

- ・期 間 平成22年8月13日(金)～15日(日)
- ・会 場 地場産センター2階展示コーナー・1階エレベーター前
- ・内 容 体験教室のイベントを開催してお盆期間中の集客増進を図った
イ.夏休み一研究日替わり体験コーナー (木工・一輪挿し・押し花)
 - ・ 木材利用拡大検討会にて夏休み木工教室
 - ・ 逸見米吉様の一輪挿し教室
 - ・ クリエイト (引間様) 押し花教室

ロ.大抽選会

ハ.試飲、試食コーナー

② 全国地場産業振興センター 地場産品交流

秩父の地場産品を他の地場産センターで展示・紹介・販売した。

- ・交流センター 山梨県富士川地域地場産業振興センター
三重北勢地域地場産業振興センター
今治地域地場産業振興センター

③ その他特設コーナー

季節感を考慮しながら物産館1レジ及び4レジ前平台に特設コーナーを設置し、販売促進に努めた。

4月 3日(土) ～	5月 6日(木)	芝桜フェア
4月15日(木) ～	5月31日(月)	バラ菓子
7月 1日(木) ～	7月31日(土)	お中元コーナー
12月 1日(水) ～	12月26日(日)	お歳暮コーナー
12月 8日(水) ～	12月26日(日)	クリスマスツリー
1月 1日(土) ～	1月31日(月)	お年賀コーナー
1月20日(木) ～	2月 3日(木)	節分コーナー
1月15日(土) ～	2月14日(月)	バレンタインコーナー
3月 1日(火) ～	3月14日(月)	ホワイトデーコーナー
3月15日(火) ～	4月 3日(日)	ひな祭りコーナー

④ 観光文化施設再発見週間の開催

秩父観光文化施設連絡協議会会員施設合同イベントとして、「第14回秩父の文化施設再発見週間」を次のとおり実施した。

- ・期 間 10月16日(金)～22日(木)
- ・開催日 10月16日(金)～17日(土)の2日間
先着100名様に秩父の地場産品があたるスピードくじを実施
- ・参加者 200名

(3) メディアを利用した地域PR

テレビ埼玉情報紹介番組「テレ玉・ちちぶへGO!」に電話で出演し、センター、地域情報、地場産品等の紹介・宣伝を行った。

その他のテレビ、雑誌等への情報提供、資料提供は随時行った。

8. 情報対策事業

ホームページの活用

平成21年度にリニューアルしたホームページを随時更新し、センター案内、物産館におけるネットショッピング、施設使用申し込みがネット上より可能となった。

トピックスにて、各種イベント情報や、物産館おすすめ商品の発信に努めた。

尚、物産館サイトでは納品業者に相互リンクの募集をし、多くの賛同をいただき、互いのアクセス向上と検索結果における上位表示を狙った。

9. 直営事業

(1) 地場産品の展示即売事業

秩父地域の特産品(織物製品、民芸品、地酒、ワイン、銘菓、惣菜、食料品、野菜類等)を主に1階物産館において広く展示紹介、販売を行った。

4・5月は芝桜の開花時期にあわせてツアー団体客・観光客が訪れた。当館への立ち寄り人数は4月において、前年比85.7%であり、5月は前年比92.0%だった。売上についても前年比97.0%だった。GW以降についても季節感あるディスプレイをこころがけ、歳時にあわせたイベントを実施した。秩父夜祭は、平日ということで昨年同様一部改装に変更して実施したが、来館者数及び売上は昨年とほぼ同じ実績となり、今後も平日開催の場合は一部改装で対応できると確信した。

いずれにしても、3月には東北の大震災により当館への影響は大きく、売上げも大幅に落ち込んだ。ディスプレイの変更や団体昼食のお客様を対象に特別販売を実施するなど、販売の増加に努力したが、景気の影響を受け厳しい一年となった。

その他、電話注文、ネット販売については、DMによる販売や固定客による再々注文などがあり、ホームページのリニューアルにあわせて更なる顧客の開拓を図った。

物産館売上表 (単位：千円)

月	21年度	22年度	比較増減	増加率(%)
4月	30,406	26,869	-3,537	88.4
5月	30,217	29,321	-896	97.0
6月	14,236	12,692	-1,544	89.2
7月	14,747	14,038	-709	95.2
8月	21,389	20,135	-1,254	94.1
9月	20,934	16,862	-4,072	80.5
10月	19,728	17,693	-2,035	89.7
11月	24,147	22,328	-1,819	92.5
12月	21,285	21,223	-62	99.7
1月	17,424	17,632	208	101.2
2月	12,675	11,658	-1,017	91.9
3月	16,220	9,670	-6,550	59.6
合計	243,408	220,121	-23,287	90.4

(2) 観光エージェントの誘客

① 旅行者への営業活動

観光団体客誘客のため、首都圏をはじめ、東海・中部地方等の観光業者を訪問し、秩父への誘客及び当センターの立寄り打ち合わせ等を行った。

- ・訪問営業日数 42日(22年度48日)
- ・訪問件数 545件(22年度599件)

② 添乗員、乗務員休憩室の整備

2階レストラン前にて、前年同様休憩室を設置し、添乗員・乗務員等に休憩スペースを提供すると共に各種パンフレットを整備し誘客宣伝に努めた。

(3) 地元小中学校の課外学習等受入

① 中学生社会体験チャレンジ事業

- ・秩父市立第一中学校

期間 平成22年7月7日(水)～9日(金)9時30分～16時(休息含め5時間半)

参加者 中学1年生 男子1名 女子2名

② 小学校社会科見学

- ・西小学校 2年生 平成22年10月27日(水) 3クラス 84名

(4) 施設利用促進事業

センター施設(多目的大ホール、大小会議室、相談室等)を地域内の企業、団体の会議、研修会、展示会等に貸出した。

長引く不況の影響により、貸館全体の利用回数は減少しているものの、平成22年4月1日より、秩父郡市内の他施設とのバランスを考慮しながら、施設料金を若干、値上げをした結果、使用料の合計は昨年比114.7%と増えている。

センター施設利用状況表

月	21年度		22年度		比較増減	
	回数	使用料(千円)	回数	使用料(千円)	回数	使用料(千円)
4月	99	436	104	587	5	151
5月	123	762	109	864	-14	102
6月	132	802	111	827	-21	26
7月	120	533	109	653	-11	120
8月	84	388	100	637	16	249
9月	144	1,293	136	1,574	-8	281
10月	173	750	134	666	-39	-83
11月	166	654	147	707	-19	53
12月	103	634	100	617	-3	-16
1月	95	831	106	846	11	15
2月	115	833	120	1,030	5	197
3月	120	544	103	690	-17	146
合計	1,474	8,460	1,379	9,703	-95	1,242

※ 上記金額は一般貸出の使用料

※ 回数には、無料貸出及びセンター自主事業(会議等)が含まれる。

(5) レストラン経営委託事業

平成20年度に行ったレストラン経営者の公募により決定した株式会社和銅鉱泉旅館による「秩父茶房レストラン春夏秋冬」が平成21年6月23日にオープンした。

地産地消を付加価値とした高単価なメニューを回転率の高い個人客に提供する方向性であったが、客足が伸びないことから、団体客・宴会の受け入れ、施設利用者への営業による会議弁当・昼食の受注、期間限定のメニュー開発販売などの取組みを行い、新たな客層開拓へ積極的に取り組んだ。(売上昨対比 126.6%)

秩父茶房レストラン春夏秋冬実績表

月	21年度		22年度	
	客数	売上(千円)	客数	売上(千円)
4月			1,763	1,832
5月			1,984	2,128
6月	601	582	1,270	1,274
7月	1,299	1,415	1,089	1,282
8月	1,846	1,778	2,203	2,133
9月	1,677	1,657	1,779	1,712
10月	1,652	1,671	1,607	1,574
11月	2,213	2,205	2,004	1,977
12月	1,409	1,381	1,362	1,336
1月	1,344	1,410	1,276	1,287
2月	914	841	743	749
3月	1,179	1,158	557	558
合計	14,134	14,098	17,637	17,842

10. 管理運営事業

(1) 理事会・評議員会の開催

① 理事会の開催

次のとおり理事会及び書面表決を行い、原案どおり承認可決された。

i 第1回 理事会

- ・月 日 平成22年6月2日(水)
- ・場 所 財団法人 秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室
- ・協議事項 議案第1号 平成21年度事業報告及び決算報告について

ii 第2回 理事会(書面決議)

- ・月 日 平成22年9月4日(土)
- ・協議事項 議案第1号 平成22年度事業計画追加変更(案)及び同補正予算(案)について

iii 第3回 理事会

- ・月 日 平成23年3月22日(火)
- ・場 所 財団法人 秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室
- ・協議事項 議案第1号 平成22年度補正予算(案)について
議案第2号 平成23年度資金運用計画(案)について
議案第3号 平成23年度事業計画(案)及び予算(案)について
議案第4号 職員退職給与引当金積立てについて
議案第5号 評議員の選任について

議案第6号 公益法人改革に係る当センター移行法人形態について

② 評議員会の開催

理事会を開催するにあたり、議案等について意見を求めるため、評議員会を行い、原案どおり理事会に付議することを承認された。また役員について任期満了により新たに選任した。

i 第1回 評議員会

- ・月 日 平成22年5月31日(火)
- ・場 所 財団法人 秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室
- ・協議事項 議案第1号 平成21年度事業報告及び決算報告について
議案第2号 役員の選任について

ii 第2回 評議員会(書面決議)

- ・月 日 平成22年9月4日(土)
- ・協議事項 議案第1号 平成22年度事業計画追加変更(案)及び同補正予算(案)について

iii 第3回 評議員会

- ・月 日 平成23年3月18日(金)
- ・場 所 財団法人 秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室
- ・協議事項 議案第1号 平成22年度補正予算(案)について
議案第2号 平成23年度資金運用計画(案)について
議案第3号 平成23年度事業計画(案)及び予算(案)について
議案第4号 職員退職給与引当金積立てについて
議案第5号 役員の選任について
議案第6号 公益法人改革に係る当センター移行法人形態について

(2) その他の会議の開催

上記の会議の他、必要に応じ管理運営に関する会議・打合せ会を開催するとともに、当センターが事務局をしている「秩父観光文化施設連絡協議会」・「地場産センター物産館協力会」の会議をそれぞれ開催した。

(3) 各種会議等への出席

① 全国地場産業振興センター協議会総会

- ・月 日 平成22年7月8日(木)～9日(金)
- ・場 所 高島地域地場産業振興センター (滋賀県・高島市)
- ・参加者 2名 (笠原専務・山田事務局長)

② 全国地場産業振興センター協議会基本問題研究会 (山田事務局長出席)

i 第1回幹事会

- ・月 日 平成22年 6月 4日(金)
- ・場 所 東京都 (財)中小企業総合研究機構

ii 第2回幹事会

- ・月 日 平成23年3月11日(金)
- ・場 所 東京都 (財)中小企業総合研究機構

iii 事前協議

- ・月 日 平成22年4月22日(火)
- ・場 所 東京都 (財)中小企業総合研究機構

③ 関東経済産業局管内地場産業振興センター協議会

i 協議会総会

- ・月 日 平成22年 6月22日(木)~23日(金)
- ・場 所 (財)飯伊地域地場産業振興センター (長野県・飯田市)
- ・参加者 2名 (笠原専務・山田事務局長)

ii 協議会(事務担当者会議：人材育成研修同時開催)

- ・月 日 平成22年11月9日(木)~10日(金)
- ・場 所 (財)燕三条地域地場産業振興センター
- ・参加者 2名 (山田事務局長・福嶋係長)

iii 人材育成部会(山田事務局長)

- 月 日 平成22年10月 7日(木)
- 場 所 東京都 (財)中小企業総合研究機構

(4) 研修会への参加

① 公益法人制度改革研修会

i 埼玉県公認会計士会 公益法人セミナー

- ・月 日 平成22年 8月31日(火)
- ・場 所 大宮ソニックシティ 小ホール

ii 埼玉県公認会計士会 個別相談会

- ・月 日 平成22年 9月 9日(木)
- ・場 所 大宮ソニックシティ

iii 辻・本郷計理士法人 一般公益法人移行セミナー

- ・月 日 平成22年12月13日(月)
- ・場 所 東京都 新宿センタービル

iv POS 導入実践研修

- ・月 日 平成22年 6月14日(月)~15日 (火)
- ・場 所 地場産センター4階 402会議室
- ・参加者 16名(職員、販売員)

② 地場産センター職員改善会議

- ・講 師 専門コーディネータ (中小企業診断士) 高澤 彰氏
- ・月 日 平成22年 6月15日 (火)、平成22年 7月21日 (水)
平成22年 8月17日 (火)、平成22年 9月21日 (火)
平成22年10月19日 (火)、平成22年11月16日 (火)
平成22年12月21日 (火)、平成23年 1月18日 (火)
平成23年 2月22日 (火) 全9回 18:30~
- ・参加者 8名 (役職員全員)

③ その他研修会

上記のほかAED 取扱い研修、衛生管理者研修、雇用保険事務、雇用対策政策説明会、マナー講習など、販売員も含めて積極的に職員を派遣参加させた。

④ 会議出席

おもてなし協議会（ニューツーリズム）、地域ブランド、ジオパーク、商工政策委員会、定住促進委員会等、地域内各種機関団体の会議に参加した。

(5) 施設管理等

- ・各階洋式トイレ(10か所)のウォシュレット(シャワートイレ)設置
- ・1階ガス湯沸器の設置

老朽化に伴う補修等を実施した。主なものは次のとおり。

- ・受水槽、高架水槽マンホールパッキン交換
- ・エアハンドリングユニットのロールフィルター交換
- ・栗助売店外壁塗装及びテーブル取り替え修繕
- ・アーケード照明タイマー修理
- ・ワイヤレスマイク修理
- ・駐車場外灯修理
- ・501 空調(パッケージエアコン)修理
- ・物産館オープン冷蔵ケース各所点検整備
- ・給水管漏水修理

(6) その他

11月1日より、お菓子な郷推進協議会の事務局を受託し、連絡調整、出納管理を行う。